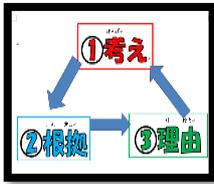
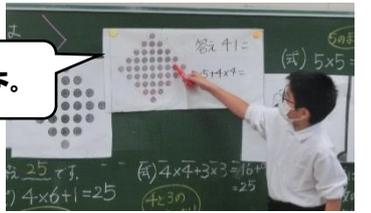


学び合って分かる授業 蝶屋モデル R5

学習過程	区切り	教師の指導 ◎重点	めざす児童の姿 指導のためのツール
構え	チャイムスタート	○はじめの挨拶 ●教師が見届ける	「起立（気をつけ）指ピン 今から○限目の授業を始めます 礼 着席」
つかむ 5分	課題をつかむ	○既習との違いに気付かせる ○思考させる課題をつくる ・～どうして○○になるのかな（理由） ・～するにはどうしたらいいかな（方法） ・～に気をつけて～しよう（観点）	児童の心をつかむ学習課題の設定 
	見通しをもつ	○ゴールをイメージさせる	単元計画の掲示
考える 5分	自力解決 根拠 わけ	○思考させるための手立て ●自分の考えをもたせる ●既習をもとにさせる ●考える視点を提示、選択肢を用意する ●根拠（言葉・文・絵・図・表・実物）に線を引く ●順序だてて分かりやすく自分の考えを書く（ノート指導）	既習・根拠をもとに考えを書く・線を引く 
学び合う 20分 	交流	◎交流するための手立て ●目的をはっきりさせる 知る、増やす、確かめる、深める、広げる など ●効果的な学習形態を工夫する 全体交流、ペア学習、グループ学習、7人交流など ●質問や感想を伝え合う ●反応しながら聴かせる ●根拠を指し示しながらわけを説明させる	伝えたいな。聴きたいな。 見てください。～からです。 
	問い返し 深めの発問	○思考を深めるための発問をする ●学びをつなげる返しや深めの発問 「どこ（どの文や言葉）からわかりますか」 「本当にいいのかな？」 「この場合はどうかな？」	どうしてかな？ どこからそう思ったの？ 
まとめる 15分	課題のまとめ	○課題に正対したまとめをする ●板書のキーワードを使って自分の言葉で書く ○活用・適用 「この問題でも使えるかな？」 「自分の生活の中でも考えられる場面はあるかな？」	この問題でも使えるよ。 
	ふり返り	○ふり返りをさせる ●自分の変容 ●次の学習に生かしたいこと ●わかったこと、考えたこと ●友達の良さ	今日わかったことは、 考えが深まったことは、 
	チャイムで終わる	○終わりの挨拶をする ●教師が見届ける	「起立（気をつけ）指ピン これで○限目の授業を終わります 礼 着席」